

令和4年度第29回市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：地域が抱える問題について

【日 時】 令和5年2月17日（金） 14時00分 ～ 15時00分
【場 所】 東岐波ふれあいセンター
【出席者】 ○篠崎市長 東岐波地区コミュニティ推進協議会会長 : 松田 保美 東岐波地区社会福祉協議会会長 : 林 豊廣 東岐波地区コミュニティ協議会環境衛生部部長 : 岡村 孝範 東岐波地区福祉委員会会長 : 田中 君江 東岐波郷土誌研究会会長 : 森 昌幸 ○総合政策部 ○事務局（広報広聴課、東岐波ふれあいセンター、地域支援員）
【概 要】 1 開会 2 出席者紹介 3 参加者と市長との意見交換 4 閉会
【意見交換・懇談】
○道路整備について 【コミュニティ推進協議会会長】 ・東岐波に限らず市内主要道路のセンターラインや横断歩道に消えかかった所が多く見られる。今年度は予算額が去年の3倍になったと聞いているが、あまり整備されたという実感がない。地区からの要望を待つだけでなく、高齢者等の事故防止のため、地域を巡回する等対応してほしい。 【市長】 ・市が管理する市道の白線等について、パトロール等で現地を確認しながら、年次的に塗り替えている。 ・まちの情報共有アプリ「ネイティブ宇部」には通報機能があり、道路等をスマホで撮影すると担当課に現地の状況が写真で届くので活用してほしい。 ・横断歩道については県の公安委員会の管轄であり、具体的な希望箇所があれば、その都度県に要望をしていく。
○自治会への助成金等について 【社会福祉協議会会長】 ・生活道路維持管理助成制度について、現在の交付割合を増やせないか。また、年間助成限度額を増額できないか。

【市長】

- ・平成 27 年度に舗装、側溝、安全施設について、それぞれ限度額を増額したが、見直し後 7 年経過しているため、物価高騰を踏まえて現在実態調査をしている。限られた財源の中で、地域の実情に合わせた形で検討していく。

○集会場建設資金助成制度について

【社会福祉協議会会長】

- ・地区集会所は避難所に指定されているところが多いが、合併浄化槽へ更新等を行うと現状の助成金では足りない状況である。

【市長】

- ・緊急避難場所または避難所の指定を受けている集会所でのバリアフリー化工事については、令和 4 年度から補助率割合を 35%から 75%に、また、補助上限額を 50 万円から 100 万円に引き上げたので、これを活用してほしい。
- ・一般財団法人自治総合センターのコミュニティセンター助成事業では、上限 1,500 万円の補助があり、西岐波地区の柳ヶ瀬自治会が制度を活用された。こういう国の制度もあるので、活用を希望される場合は市に相談してほしい。

○道路愛護作業に係る原材料等の支給制度について

【社会福祉協議会会長】

- ・生活道路の簡易補修用のアスファルトが自治会あたり年間 5 袋に限定されているが、必要に応じて増やしてほしい。

【市長】

- ・限られた財源の中で幅広い自治会にご利用いただくため上限を設けているが、緊急を要する場合などで、上限を超えて必要とされる場合は、道路整備課に相談してほしい。

○公衆用ごみ置き場等の設置について

【環境衛生部部長】

- ・東岐波地区では毎年地域をあげて海岸清掃を行っているが、近年、特にプラスチック等の燃えないゴミが多く打ち寄せられている。東岐波の海岸を保全するため、ごみを一時的に置ける設備等を整備してほしい。

【市長】

- ・漂着ゴミ等を回収するごみ箱を設置すると不法投棄の懸念があるので、ごみ置き場の設置については今後検討していく。
- ・キワ・ラ・ビーチや永ヶ久保海岸は、市が海岸管理者となっているので、ここでの海岸清掃で発生したごみについては、ご連絡いただければ随時回収・処分を行う。
- ・令和 4 年度に、日本財団が推進する海洋ゴミ対策事業の一環で、西岐波地区の白土海岸に漂着ゴミを捨てることのできる「拾い箱」が設置されたという事例もある。
- ・令和 5 年度から、地域の SDG s 活動を応援していくための活動助成金制度を検討し

ている。海岸清掃は、海の環境を守るというSDGsの目標に該当することから、この助成制度の活用を検討してほしい。

○移住定住サポート体制の充実について

【福祉委員会会長】

- ・宇部市は全国上位の医療環境や交通の利便性などの点が評価され、2020年住みたい田舎全国ベストランキング全国1位となり、大変誇りに思っている。東岐波ではバスの減便等、高齢者にとっての交通手段がなくなるなど問題点もある。
- ・移住定住サポート体制の充実を図り、宇部市に住む全ての人々が幸せを感じて生活できるよう推進してほしい。

【市長】

- ・本市は、空港が近くにある等の魅力により、テレワーク用のサテライトオフィスが増えており、企業誘致も進めている。
- ・市内の研究機関と連携して宇宙関連や医療系等の新しい産業を育成し、若者に魅力ある仕事を創出している。
- ・令和4年度に子どもの医療費無償化を実施し、令和5年度には第二子以降の保育料の無償化を実施する予定である等、暮らす人達の目線に立って住みやすさを充実させていき、東京から1時間半という本市の強みをさらに活かしていく。
- ・出会い、結婚等のニーズに応じ、結婚定住応援イベントを昨年秋から実施している。結婚、出産、子育てへのサポートを充実させ、希望出生率を上げていきたい。

○ふれあいセンターの機能の充実、憩いの家の建て替え・整備について

【郷土誌研究会会長】

- ・東岐波をはじめ、地域の歴史を将来に継承していくことは大事である。その手段として、文書や歴史的資料を保存整備していくために、デジタル技術を活用し各ふれあいセンターをつなぎ、どこからでも地域の歴史資料が閲覧できるよう整備してほしい。

【市長】

- ・ふれあいセンターは、避難所や防災・地域の拠点施設としての役割もあり、老朽化したものから随時更新している。
- ・地域のデジタル化について、Wifi等のハード面は整備しているが、今後、ソフト面も強化していく。
- ・書籍については、ふれあいセンター内の図書や巡回している移動図書館の「あおぞら号」を充実していく。
- ・憩いの家の建て替えや整備については現状では難しい。他市には、地域の空き家を地元で管理し、資料館とする使用例等もあるので、計画があれば相談してほしい。

○地域観光開発拠点の整備について

【郷土誌研究会会長】

- ・良好な干潟が残るキワ・ラ・ビーチを中心とした波雁ヶ浜海岸や日の山等、また周辺資源も活用しながら観光化していきたいので支援してほしい。
- ・丸尾漁港周辺は歴史的地区であり、歴史文化の顕彰について提案していきたいので支援してほしい。

【市長】

- ・キワ・ラ・ビーチについては、令和3年度にウッドデッキを整備し、令和5年度には橋を整備する予定である。新たなシーサイド施設の整備は難しいが、だるま朝日等、観光資源があるので、地域と連携し、魅力を強化する取り組みを進めていきたい。
- ・岬漁港では令和4年度から海底耕運により、魚介類にとって好環境となる取り組みをしている。岐波海岸でも同様に豊かな海となるよう、地元と情報交換をして取り組んでいきたい。
- ・地域の文化財の保存、顕彰の方法については、今後検討していく。

○自治会の役員について

【コミュニティ推進協議会会長】

- ・地域に自治会役員を引き受ける人が少ない。市としても対応をしてほしい。

【市長】

- ・自治会で役職を多数兼任している役員が多く、役職の棚卸しが必要であり、市でも相談を受けるので活用してほしい。
- ・最初の地域活動の入り口であり、将来の自治会活動の担い手となる子ども会の加入率がおよそ16%である。子ども会活動の活性化には、他の役職との兼務をはずすなど、若い人たちの働き方に合わせた地域の中での役割分担を考える必要があると考えている。

○防犯灯の電気料金の助成について

【社会福祉協議会会長】

- ・自治会内の防犯灯をLEDに更新しているが、電気代が今年の同時期に比べて2倍近くかかっている。電気代に対して助成をしてほしい。

【市長】

- ・約10年前に設置したLED機器の更新時期がまもなく来る。現在、市としては更新に対する助成制度を考えているので、電気代に対する助成は難しい。
- ・今年度の市政懇談会で、地域に防犯カメラを設置する際の助成制度の創設について提言があった。プライバシーの問題や映像データの管理等がネックとなっていたが、自治会の総意があること等とした上で、令和5年度から防犯カメラの設置に対する助成制度を始めるので活用してほしい

○道路（横断歩道）の段差解消について

【地区社会福祉協議会会長】

- ・横断歩道の路面舗装がはがれて段差ができ、高齢者がつまづいたり、シニアカートが挟まって動けなくなる事例がある。高齢化が進む中で、子どもたちだけでなく、高齢者にも安心安全な環境であってほしい。

【市長】

- ・どこが高齢者や障害者にとって歩きにくいかが整理し、まず交通量が多い箇所等から優先順位をつけて整備していく。

○自治会への加入について

【社会福祉協議会会長】

- ・生活道、防犯灯、ごみ箱等は自治会で維持管理をしており、都会から転入された若い方等にも自治会に入会していただかないと、補修や維持管理の財源がなくなる。

【市長】

- ・自治会への未加入の問題は、多くの地区で取り上げられている。自治会への加入は強制ではないが、自治会の意義をしっかりと伝えて理解していただくことが必要である。

○音声付横断歩道の設置について

【福祉委員会会長】

- ・東岐波地区には音声付横断歩道が無い。視覚障害者の方から、丸尾交差点は交通量が多いため、安心して通行できるよう音声付横断歩道を設置してほしいとの要望がある。

【市長】

- ・今後、交通量等を含め総合的に検討していく。